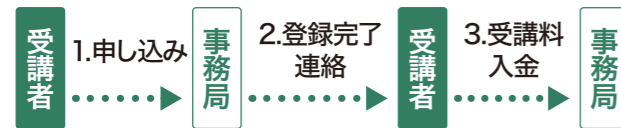


## 受講方法

医療福祉に関心や関わりのある方であれば、どなたでも受講が可能です。

### 受講の申し込み

乃木坂スクールを受講される方は、以下の流れでお申し込みください。



1. 申し込み / Web申し込みフォームからお申し込みください。
  2. 登録完了連絡 / 乃木坂スクール事務局より受講者番号、受講料支払い方法など詳細についてメールでご連絡いたします。  
※定員になり次第、申込受付は締め切ります。申込後1週間経過しても事務局より返信がない場合は、お手数ですがご一報ください。
  3. 受講料入金 / 事務局からのご案内メールに記載されている指定の銀行口座へ受講料をお支払いください(振込手数料はご本人負担)。
- 受講キャンセルについて / 開講後のキャンセルおよび受講開始後のご返金はいたしかねますので、予めご了承ください。  
※開講前のキャンセル・講座の追加・変更は事務局までお問い合わせください。

### 受講料割引制度のご案内

- ・ 1名で30,000円以上の講座を複数申し込まれる場合、1講座につき5,000円を割引します。
- ・ 同じ講座を2名以上で一度に申し込まれる場合、割引料金が適用されます(2名、3名、4名以上と割引率が上がります)。
- ・ 港区在住・在勤の方向けの割引制度があります(区内にお住いの方はおよそ半額など)。詳細は事務局へお問い合わせください。
- ・ 本学の学部卒業生、大学院修了生は、割引料金が適用されます。詳細は事務局へお問い合わせください。

### 講師、講義内容、講義実施日の変更について

- ・ コース内容、講師、講義実施日等は都合により変更が生じる場合がございますので、予めご了承ください。変更が生じる場合は、事前にご登録いただいたメールアドレス宛に事務局よりお知らせいたします。
- ・ 申込者数が極端に少ない場合や講師に起因するやむを得ない事情により、また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、受講形態を変更したり、開講中止となる場合がございますので、ご了承ください。
- ・ 天災、交通機関の不通等により講義当日に急遽中止となる場合がございます。その場合は速やかに、ご登録いただいた連絡先にお知らせいたします。中止した講座については後日実施する方向で調整をいたします。

## 国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパスのご紹介

### 1 授業は平日の夕方以降や土日祝日に集約

### 2 複数のICT教育ツールにより多彩な学修方法

Webコミュニケーションツール、eラーニングシステム、VODライブラリー

### 3 全国7都市にキャンパスを展開 大田原、成田、東京赤坂、小田原、熱海、福岡・大川 ※熱海・福岡は大学院のみ

2018年に開設され、アクセス抜群の都心にある東京赤坂キャンパス。学会や研修も開催できる1,000人収容の講堂や図書館、体育館、カフェテリアなど、充実した環境を備えたE棟(写真左)。2020年に完成したW棟(写真右)には一般の方が利用できる健診センター、クリニック、保育園、病児保育室などがあり、地域の医療福祉に貢献しています。



東京メトロ・銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A出口より徒歩3分  
・有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」A出口より徒歩3分

## お申し込み・お問い合わせ

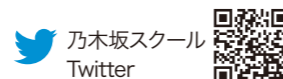
国際医療福祉大学大学院  
東京赤坂キャンパス 公開講座 乃木坂スクール  
〒107-8402 東京都港区赤坂 4-1-26  
TEL 03-5574-3902 / FAX 03-5574-3901  
電話受付時間 平日13:00~17:30  
E-mail:nogizaka@iuhw.ac.jp

お申し込みはwebから!

<https://extension.iuhw.ac.jp/>

乃木坂スクール

検索



# 国際医療福祉大学大学院 乃木坂スクール 東京赤坂キャンパス 公開講座

2023年度 前期  
4月~8月開講

医療福祉の  
生涯学習講座

全国どこでも  
Web受講

各種割引制度  
が充実



「わたしの未来」が豊かになるために、  
「誰かの未来」を豊かにするために、  
医療福祉を学ぼう



国際医療福祉大学大学院  
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL



## 公開講座「乃木坂スクール」について

国際医療福祉大学は、1995年に開学した、日本初の医療福祉の総合大学です。国際医療福祉大学大学院は全国7都市のキャンパスに、医学研究科を加えた4研究科、8専攻に50以上の分野・コースを展開し、卒業生約4,800名、在学生約950名の国内最大規模の医療系大学院となっています。保健・医療・福祉の高度専門職へのキャリアアップを支援するために、社会人が働きながら学べるようにさまざまな配慮がなされています。

「乃木坂スクール」は、大学院が運営・開催する、広く社会人の方々を対象とした公開講座です。医療福祉関係者のための生涯学習の夜間コースとして2004年に開設されました。開設当時、大学院キャンパスが乃木坂にあったことからこの名が付けられました。

開講される講座は、医療福祉の幅広い領域をカバーするとともに、現在、私たちが直面する課題や時代の潮流を先取りしたテーマなど多彩です。本学の誇る豊かな人材と社会で活躍する皆様とを、学際的で先進的な情報の提供を通じて結び、未来への展望を拡げていただく貴重な扉として有効に機能させたいと願っております。

講師には本学教授陣に加え、外部からも医療福祉分野の第一線で活躍するリーダーや有識者を招聘いたしております。知識の幅を広げようとする方はもちろん、実践的な専門知識やスキルを増やしたい方にも適した内容となっており、医療福祉に関心がある方ならどなたでも受講が可能です。

この公開講座の受講をきっかけに、大学院に興味を持たれ、より高いレベルでの研究を志す方も多くおられます。大学院への入門講座としても、積極的にご利用いただくことを期待しております。

新型コロナウイルス感染症の影響で相互の交流が難しい状況が続いておりますが、可能であれば受講者間の交流の機会も提供できればと願っております。

東京赤坂という恵まれた環境のもとで、共に学んでみませんか。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2023年2月

国際医療福祉大学大学院長  
三浦 総一郎



### 乃木坂スクールの由来

「乃木坂スクール」は、2003年に就任し多くの先駆的な取り組みを行った故開原成允大学院長が立ち上げた公開講座です。講座開設以来、多くの方々に受講いただき、リピーターの方も少なくありません。“乃木坂”の名は、開設当時大学院キャンパスが乃木坂にあったことに由来します。

#### こんな方にお勧め

- 知識・教養を増やしたい
- 大学院に進学を考えている
- ジャーナリズムに興味がある
- 研究者
- 医療関係メーカー
- 行政関係者
- 経営者
- 医療福祉従事者
- 教育関係者

#### 受講者の声

- 仕事・研究に役立った
- 医療職として必要な事を学べた
- 経営者として非常に勉強になった
- Web受講で遠方でも好きな時に学ぶことができた
- コミュニティ形成に役立った

## 割引のご案内

複数講座割引	グループ割引	港区割引
・1講座あたり5,000円引 (受講料30,000円以上の講座に適用)	・2名様から適用 ・最大で3割引	・お住まいの方 → 半額 ・お勤めの方 → 3割引

例 一般40,000円の講座の場合

- 複数講座申込: 35,000円
- 4名以上申込: 29,000円(一人あたり)
- 港区在住の方: 20,000円、港区在勤の方: 27,000円

受講形態 乃木坂スクールでは受講方法をお選びいただけます。

Web受講	対面受講	Web受講 + 対面受講
収録された講義映像をオンデマンド視聴する受講方法です。 (Live配信ではありません) 全国どこからでもインターネット環境があれば、期間中は好きな時間に何度でも、ご自宅や通勤時間などで講義映像を視聴できます。 配布資料のダウンロードも可能です。	東京赤坂キャンパスにお越しいただき受講する方法です。 夜間帯(18:00~21:15)を中心とした時間設定で、お仕事帰りでも参加可能。直接参加の緊張感と充実感が味わえ、講師や参加者とコミュニケーションがとれるのも魅力のひとつです。	Web受講と対面受講を組み合わせた受講方法です。 直接会いたい講師がいる、数回は対面で参加してみたい、復習用にWeb視聴をしたいなど、対面でもWebでも、スケジュールにあわせてフレキシブルに受講することが可能です。

※講座により受講形態が異なります。各講座のページでご確認ください。

このマークのついた講座は、特に予備知識等を必要とせず、広く一般の方に向けた内容です。

## 01

### 日本の社会保障 ～制度と政策～

4月10日開始 / 全15回 / 月曜 / 18:00~19:30

受講形態 / WEB 対面 受講料 / 一般: 40,000円 (2名申込: 33,000円, 3名申込: 31,000円, 4名以上申込: 29,000円 / 1名あたり)

日本の社会保障について、制度と政策の両面から講義を行います。まず、制度編において年金、医療、介護、福祉、少子化対策等の領域を取り上げます。続く政策編において、日本の社会保障をめぐる主要論点について検討します。この講座を通じて、社会保障について、総合的、体系的な知識を身につけ、これからの社会保障について考える力を高めましょう。

○ コーディネーター / 講義担当



中村 秀一 教授 医療福祉学分野

東京大学法学部卒業。厚生労働省大臣官房審議官、老健局長、社会・援護局長、社会保険診療報酬支払基金理事長、内閣官房社会保障改革担当室長などを歴任。一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長、国際医療福祉総合研究所長。

中村 秀一 教授からのメッセージ

少子高齢化・人口減少社会において、社会保障は課題山積です。「子ども・子育て予算倍増」「2024年の同時改定」といった直面する課題も取り上げます。

## 02

### 介護事業マネジメント講座 (医療介護福祉政策研究フォーラム提携講座)

4月10日開始 / 全15回 / 月曜 / 19:45~21:15

受講形態 / WEB 対面 受講料 / 一般: 40,000円 (2名申込: 33,000円, 3名申込: 31,000円, 4名以上申込: 29,000円 / 1名あたり)

今回新設する講座です。介護事業の経営を目指す方、介護事業に従事されている方でリーダーを目指す方、介護事業について理解を深めたい方を対象に考えています。介護の事業とケアのあり方について、多角的に学ぶことを目指します。今回は、総論的な講義、地域で支える、施設のあり方、働きやすい職場、ICTの活用、法的側面、将来展望のテーマで15コマの講義を行います。この講座で介護事業マネジメントの理解が深まることを期待します。

○ コーディネーター

中村 秀一 教授

○ ゲスト講師(予定)

「介護保険制度の概要と2040年に向けた展望」 厚生労働省老健局 総務課長 林 俊宏 氏

「認知症ケアの現場と課題」 認知症介護研究・研修東京センター センター長 山口 晴保 氏

「介護事業の法的リスクマネジメント」 介護・福祉系法律事務所 おかげさま 代表弁護士 外岡 潤 氏

中村 秀一 教授からのメッセージ

介護保険制度のもとで介護事業は大きく発展してきましたが、事業の効率化や働く人にとって魅力ある職場づくりが課題となっています。ともに学びましょう。



## 日本の国民皆保険 ～その歴史と将来～

6月6日開始／全6回／火曜／18:00～19:30

受講形態／WEB 対面 受講料／一般：16,000円 (2名申込：13,500円、3名申込：12,500円、4名以上申込：11,500円／1名あたり)

すべての国民を対象に医療費の保障を行うユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC: Universal Health Coverage) は、社会保険方式のほか英国や北欧諸国等が採用している税方式があります。わが国はドイツやフランスと並んで社会保険方式を採用していますが、被用者保険と地域保険の二本立てであるなどの点でドイツやフランスとは異っています。また、医療提供体制については、民間セクター中心、フリーアクセスの尊重といった特徴があります。こうした際立った特徴を有する日本の国民皆保険は、どのように生成・発展したのでしょうか。また、将来にわたり持続可能性を確保するに、私たちは、いま何をすべきなのでしょう。本講座では、日本の国民皆保険の歴史と将来について、皆さんと一緒に考えていきます。

○コーディネーター／講義担当



**島崎 謙治 教授** 医療経営管理分野

東京大学教養学部卒業。厚生労働省保険局保険課長、国立社会保障・人口問題研究所副所長、政策研究大学院大学教授を経て、2020年より本学教授。博士(商学)。社会保障審議会医療部会委員、長野県立病院機構理事。

島崎 謙治 教授 からのメッセージ

医療サービスや医療保険の関係者のほか、国際医療協力を携わっている方、医療制度の本質を基本から考えてみたい方々の受講をお勧めします。

## 社会保障を分析する

4月11日開始／全15回／火曜／19:45～21:15

受講形態／WEB 対面 受講料／一般：40,000円 (2名申込：33,000円、3名申込：31,000円、4名以上申込：29,000円／1名あたり)

人口問題、年金、医療、介護、福祉、労働保険など社会保障の主要分野と行政のデジタル化、地方創生といった関連施策取り上げ、人口問題、医療データ分析、数理専門の行政官等の専門家による講義を行います。社会保障の各分野についての豊富なデータに基づく分析によって、社会保障の各分野の現状と課題、今後の展望についての理解を深め、日本の社会保障について正確な知識を得ることを目指します。

○コーディネーター／講義担当



**中村 秀一 教授** 医療福祉学分野

東京大学法学部卒業。厚生労働省大臣官房審議官、老健局長、社会・援護局長、社会保険診療報酬支払基金理事長、内閣官房社会保障改革担当室長などを歴任。一般社団法人 医療介護福祉政策研究フォーラム理事長、国際医療福祉総合研究所長。

中村 秀一 教授 からのメッセージ

社会保障を人口学、データサイエンス、数理を用いて分析する本講座は、他に類例のないものと自負しています。多くの方の参加をお待ちしています。

## 医療・介護・福祉の計画をロジックモデルを活用し策定・評価する～本年度の都道府県での作成に向けて～

4月14日開始／全15回／金曜／19:45～21:15

受講形態／WEB 対面 受講料／一般：40,000円 (2名申込：33,000円、3名申込：31,000円、4名以上申込：29,000円／1名あたり)

都道府県の医療計画、がん対策推進計画、循環器病対策推進計画や、市区町村の介護保険事業計画など、多くの医療介護福祉に関する計画が2023年度に策定されます。①国の動向②策定・評価の方法③都道府県等の好事例――を第一線の演者がレクチャーします。国の各種の計画策定ガイドライン等において「ロジックモデル」(目的と施策の体系図)を活用することが推奨されました。ロジックモデルが、患者・住民に効果をもたらす施策を進める基盤となります。どの立場の方にとっても、これを理解しておくことは不可欠となります。ロジックモデルと指標データを活用し、EBPM(エビデンスに基づく政策評価)に向けたPDCA(計画・実施・評価・改善)サイクルを進める方法を学びます。

○コーディネーター／講義担当



**埴岡 健一 教授** 医療福祉ジャーナリズム分野

元厚生労働省がん対策推進協議会委員。医療計画、がん対策推進計画、循環器病対策推進計画などの策定・評価に関する支援を行っている。日本評価学会認定評価士。

埴岡 健一 教授 からのメッセージ

行政の方：ロジックモデルが必須に。提供者の方：地域課題の理解に。住民の方：地域政策の診断力を。メディアの方：報道ネタが満載。

## 医療DXの国際比較 (欧米やアジア諸国に学ぶ・8期)

4月10日開始／全15回／月曜／19:45～21:15

受講形態／WEB 対面 受講料／一般：40,000円 (2名申込：33,000円、3名申込：31,000円、4名以上申込：29,000円／1名あたり)

2009年開始の「各国に学ぶ医療制度」のシリーズは、今回8期目を迎えます。今シリーズはボストンで世界の病院のDXを研究されている青木智乃紳先生(毎回Zoom参加)と共同で「医療DXの国際比較」を行います。通例の各国の医療制度の紹介では、フランス、中国を取り上げます。医療DXの国際比較では、前回同様にZoomを使用して、パリとボストン現地から直接講義をお願いするほか、エストニア、アメリカ、フランス、デンマーク、ドイツ、イスラエル、中国、シンガポールおよび世界の医療DXビジネスの最新事情を紹介する講義を行う予定です。

○コーディネーター／講義担当



**高橋 泰 教授** 医療福祉経営専攻主任  
医療経営管理分野責任者

金沢大学医学部卒業。東京大学医学系大学院にて日本で第1号の医学博士(医療情報)。2016年から20年にかけて安倍内閣の諮問委員として医療介護DX推進の先鞭をつける。

高橋 泰 教授 からのメッセージ

今回の講座で、医療DXの基礎、ビジネス・行政の立場からの国際比較、医療DXの先進国であるエストニア、アメリカ、フランス、デンマーク、ドイツ、イスラエル、中国、シンガポールの最新事情を知ることができます。

○共同ファシリテーター／講義担当

青木 智乃紳氏(行政官長期在外研究員(ハーバード大学公衆衛生大学院等))

## 人をつなぎ・人がつながる ～そして、前例を超える・前例を創る～

4月13日開始／全15回／木曜／19:45～21:15

受講形態／WEB 対面 受講料／一般：40,000円 (2名申込：33,000円、3名申込：31,000円、4名以上申込：29,000円／1名あたり)

「ひとり暮らしでも自宅で笑って大往生」を実現し広める僧籍あるお医者さん、法則「ボランティアは揉める」を覆したボランティアのパイオニア、行政の前例を変えつつあるソフトウェアのプロ、40冊の本「ケアを開く」で専門家にショックを与えた編集者、薬害エイズの当事者であることを19歳で告白して3500人の「人間の輪」で厚生省を取り囲み、いまは政治と若者をつなぐ参議院議員。人と人をつないで、医療・福祉・行政・ボランティアの文化を変えてきた達人から、なぜ、それができたのか、壁をどう乗り越えたのかの極意を伝授していただきます。

○コーディネーター／講義担当



**大熊 由紀子 教授** 医療福祉ジャーナリズム分野

東京大学教養学科卒業。朝日新聞論説委員、大阪大学大学院教授などを歴任。『「寝たきり老人」のいる国いない国』『物語・介護保険』などの著書の他、6,000人18か国に、HPやMLで発信。

大熊 由紀子 教授 からのメッセージ

変えたい、でも、変えられない、と立ち止まっている方、ゲストと対話しながら前例を超えてみませんか？

## 読売新聞特別講座「コロナ禍、円安を超えて～日本が再生するには～」

4月14日開始／全15回／金曜／18:00～19:30

受講形態／WEB 対面 受講料／一般：40,000円 (2名申込：33,000円、3名申込：31,000円、4名以上申込：29,000円／1名あたり)  
6回コース：16,000円(お好きな回を選んで受講いただけます)

ロシアによるウクライナ侵略の終結が見えず、エネルギー危機、物価高騰、コロナ禍が世界を覆う中、日本は、30年ぶりの円安に見舞われ、かつての世界のトップランナーの地位から後退しつつあります。日本がよみがえるには、何が必要なのでしょう。読売新聞の知性を代表する、各分野のベテラン編集委員、論説委員らを招き、諸問題にメスを入れ、課題を探り、方策を考えます。

○コーディネーター／講義担当



**丸木 一成 教授** 医療福祉ジャーナリズム分野責任者

読売新聞東京本社医療情報部長、生活情報部長を務め、長期連載企画『医療ルネサンス』で新聞協会賞、菊池寛賞を受賞。2007年本学着任。医療福祉学部長、常務理事などを歴任。

丸木 一成 教授 からのメッセージ

コロナ禍が進めた貧困・格差と少子化、1,000兆円の債務、防衛費の増加など、課題山積みの日本。政治、国際、防衛、教育、医療の各分野の専門家と「再生の道」を探ります。日本の将来を案じている方にお勧めです。一緒に考えませんか。



## これだけは知っておきたい、臨床に役立つバイオメカニクス

4月13日開始／全15回／木曜／19:45～21:15

受講形態／WEB 対面 受講料／一般:40,000円 (2名申込:33,000円、3名申込:31,000円、4名以上申込:29,000円/1名あたり)

バイオメカニクスは人の動きを客観的に知る手法です。本講座では、重心、床反力、関節モーメントといった基礎をもとに、歩行や立ち上がりなどの基本動作について解説します。さらに、バイオメカニクスの視点から疾患をもつ方の動きの分析を通して臨床に役立つバイオメカニクスを解説します。対面で参加される受講者を交えてディスカッションを行いながら、動作に対する理解を深めていきます。

○コーディネーター／講義担当



**山本 澄子 教授** 福祉支援工学分野責任者

慶應義塾大学大学院工学研究科修了。工学博士。東京都補装具研究所研究員、東北大学大学院医学系研究科助教授を経て、2001年より現職。専門は動作分析、義肢装具の開発。

**石井 慎一郎 教授**

山本 澄子 教授 からのメッセージ

力学は苦手、バイオメカニクスは難しく何の役に立つのかわからないと思っている方は勇気を出してぜひ参加してください。臨床に役立つ手ごたえをつかんでいただけたらと思います。

## 2040年に向けた支援機器の活用 ～支援機器による新たな介護～

4月11日開始／全13回／火曜／18:00～19:30

受講形態／WEB 対面 受講料／一般:37,000円 (2名申込:30,000円、3名申込:28,000円、4名以上申込:26,000円/1名あたり)

独居や老々介護世帯が増加する中で、支援機器・介護ロボット・福祉用具の導入は、介護の現場においては、必須と言えます。2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上になり、介護人材の不足は深刻化する中で、見守りセンサーや睡眠効率の計測など、新たな機器の開発と導入は加速しています。介護人材の不足、災害、感染症等の危機を乗り越えて、その人らしい生活を送るために、支援機器による新たな介護に奮戦するフロントランナー達からお聞きします。

○コーディネーター／講義担当



**東島 弘子 教授** 福祉支援工学分野

博士(医療福祉経営学)。2016年より現職。厚生労働省「介護保険における福祉用具販売・貸与種目のあり方検討会」委員。消費者庁事故調査委員。「福祉介護テクノプラス」(日本工業出版)に『私的福祉用具論』を連載中。

東島 弘子 教授 からのメッセージ

行政(厚労省)、公的機関(産総研ほか)、介護施設(SOMPOケア)、ケアマネジャー、福祉用具事業者ら多彩な講師が登場。福祉用具のBCP(事業継続計画)や開発の最新状況の話もあります。機器に焦点化した連続講座は、他では聞けません。

## ケアマネジメント・自立支援介護

4月12日以降順次配信／全13回

受講形態／WEB のみ 受講料／一般:40,000円 (2名申込:33,000円、3名申込:31,000円、4名以上申込:29,000円/1名あたり)

【ケアマネジメント】科学的介護・DXが両輪で進む時代のケアマネジメントには、科学・デジタル・思い(意思決定)の調和を実現する最新の知識と技術が欠かせません。その実現に有効な方法が令和6年から法定研修に導入される「適切なケアマネジメント手法」です。厚労省の事業で開発中のケアプランAIも学習します。これらの開発から全国研修の講師まで務めている本学の教員がオリジナル資料を使用して、基礎から未来像までわかりやすく解説します。

【自立支援介護】科学的介護の一つの手法として、自立支援介護があります。

生理学・認知科学などを基礎とし、介護の実践者として押さえておきたい知識、また翌日から実践できる具体的方法論をお伝えします。さらに演習では自立支援介護の実践や経営者層の取組についてもディスカッションをおこないます。

○コーディネーター／講義担当



**石山 麗子 教授** 先進的ケア・ネットワーク  
開発研究分野責任者

①実践(児童、障害、高齢/職能活動)、②行政(厚生労働省 介護支援専門官)、③教育/研究(現職)の3側面の経験をもとに未来の介護システムの創発をめざして活動中。

石山 麗子 教授 からのメッセージ

ケアマネジメントと介護の両方の観点から国の方針に基づく手法、最先端のケアプランAIの情報、すぐに実践に役立つ介護手法等を第一線の講師陣から直接学ぶことができます。

## DX時代の効果的・効率的なF-SOAI(エフ・ソアイピー)によるイノベーション～多機関・多職種によるマイクロ・メゾ・マクロレベルの展開～

5月13日開始／全4回／土曜／13:00～16:10／定員20名

受講形態／対面 のみ 受講料／一般:20,000円 (2名申込:16,500円、3名申込:15,500円、4名以上申込:14,500円/1名あたり)

医療福祉の実践においては効率的・効果的な経過記録法が求められています。そこで開発されたF-SOAIは、DX下のICT・AIにもなじみ、臨床(マイクロレベル)のみならず、多職種連携(メゾレベル)、多機関連携・地域連携(マクロレベル)のいずれにおいても情報共有ツールとして共用できる経過記録法です。F-SOAIの実践面・研究面での先進的活用例を各分野・領域の先駆的担当者からの報告(OJT、業務分析、質的研究法での応用を含む)をもとにディスカッションします。

○コーディネーター／講義担当



**小嶋 章吾 特任教授** 医療福祉学分野

東京都立大学大学院社会科学部博士課程満期退学。修士(社会福祉学)。大正大学人間学部専任講師を経て、2015年より現職。F-SOAI実践・教育研究所共同代表、M-GTA研究会相談役。

小嶋 章吾 特任教授 からのメッセージ

F-SOAIは諸アプローチの評価データとして活用され、福祉サービス第三者評価・ケアプラン点検・病院機能評価でも高評価です。地域共生社会に向け自治体での導入も進んでいます。

## エンブリオロジスト必須講座 part 1

4月15日以降順次配信／全15回(1回2コマ)

受講形態／WEB のみ 受講料／一般:40,000円 (2名申込:33,000円、3名申込:31,000円、4名以上申込:29,000円/1名あたり)  
単発受講／1回:3,000円 (お好きな回を選んで受講いただけます。)

エンブリオロジスト(胚培養士)に必要とされる知識は、基礎生殖生物学、統計学、最新の産婦人科学等多岐にわたり、またラボ管理、トラブルシューティング等の幅広いスキルも含め、本講座では専門の講師から系統的に学ぶことができます。

○コーディネーター／講義担当



**堤 治 教授** 山王病院名誉病院長  
生殖補助医療胚培養分野責任者

東京大学医学部卒業。医学博士。東大産婦人科教授を経て2008年から山王病院病院長、2021年から名誉病院長。元東宮職御用掛。長年、卵子の成熟や受精・着床機構を研究、日本受精着床学会理事長などを歴任、不妊治療・生殖医療の世界的第一人者。

**猪鼻 達仁 講師**

堤 治 教授 からのメッセージ

体外受精が保険適用となりました。治療成績は胚培養士の技量により、十分な知識と技術が必要とされます。本講座は生殖医療の基本から最新技術まで楽しく学べ、貴方のステップアップに役立ちます。

## 2023年度医療通訳講座

4月上旬開始／土曜日または日曜日／9:00～16:10／英語・中国語コース／詳細はHPにてご案内

受講形態／WEB 対面 受講料／一般:250,000円 (こちらの講座は割引制度の適用はありません)

外国人患者と医療者間の円滑なコミュニケーションをサポートし、チーム医療の一員として医療機関等において活躍できる医療通訳者の育成を目指した医療通訳講座です。厚生労働省「医療通訳育成カリキュラム基準」を強化した本学独自のカリキュラムとなっており、教材等も医療機関で実際に使用しているものを活用しています。

○コーディネーター／講義担当



**押味 貴之 准教授** 医療通訳・  
国際医療マネジメント分野責任者

旭川医科大学医学部卒業。Macquarie University大学院通訳翻訳学科修了。日本大学医学部医学教育企画・推進室助教を経て2017年より国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター准教授、成田キャンパス総合教育センター医学科英語主任。

**岡村 世里奈 准教授**

押味 貴之 教授 からのメッセージ

本講座では「医療現場で求められる医療通訳者」の育成を目指して、「学び続ける力がある」「医療者としての自覚がある」「対話を成立させる責任を持つ」ことを目標とする教育を行っています。医療現場を再現する本講座で、一緒に医療通訳を学びましょう。